フィルムは生きている　手塚治虫フィルモグラフィー　１９６２－１９８９（1990）

メディア 映画　アニメ
ジャンル ドキュメンタリー
製作国　日本
時間　42分
初公開日 1990/07/20

【解説】
1990年の夏に東京国立近代美術館で開催された手塚治虫展のために制作された作品。その後、日本各地で巡回上映された。記念すべき第１作「ある街角の物語」から、アニメ作家としての集大成である「森の伝説」まで、彼が生涯に製作した作品の名場面を綴ったドキュメンタリー。また、タイトルの10文字を手塚治虫と親交があった日本を代表するマンガ家、アニメーター10人が1文字ずつ書いている。手塚治虫の独創性と、彼の“動く絵”に対する愛が伝わってくるメモリアル・フィルム。

【クレジット】

演出	片山雅博
企画	松谷孝征
プロデューサー	清水義裕
アシスタントプロデューサー	村山成夫
構成	片山雅博
脚本	片山雅博
編集	片山雅博
音楽	後藤慶一
クレイアニメーション	石田卓也
ナレーター	阪修
タイトル字幕デザイン	石ノ森章太郎
	川本喜八郎
	加藤芳郎
	鈴木伸一
	藤子・Ｆ・不二雄　Fujiko F Fujio
	藤子不二雄A　Fujiko Fujio A
	和田誠
	久里洋二
	横山隆一
	馬場のぼる

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.